確かに無いということで小学生の観察力に驚いたとの話、会員のおば（高齢）が入院中毎日ボランティアの方が来て足をマッサージしてくれたことをとても喜んでいたので、高齢者へのボランティアにも意味があるのではとの意見、何か東北大震災の復興支援につながる新しいボランティアを作ってみたいとの意見などがありました。

（要約文責宮下）

テーブルスピーチの様子

寄稿

辻喜代子会員は2017年８月地球一周ピースボートで103日間の船旅を終え、追加の紀行文をいただきました（前回716回2018年10月1日例会週報記事で紹介）。

【スエズ運河】

- この度は、最後の思い出にオーロラを観にと出発した船旅でしたが、50代の頃空からエジプトへ向かい、古代の神秘に想いを寄せ満足しておりましたがーこの度海からアフリカ大陸を横目にスエズ運河を通過しました事は感激でした。

  巾 180~300m 深さ 30m ながさ 167k~170k
- 紅海と地中海を結ぶ170キロの海道、スエズ運河は、1869年,日本ではちょうど明治維新の頃に建設されたそうです。建設を指揮したのは、フランス人外交官、カイロ領事レセップス。国の繁栄の言葉とは裏腹に３万人のエジプト人が強い日差しと無給の重労働に命を落としていきました。
- 完成した運河は、エジプト政府の困窮により、完成からわずか６年後に英国に売却され、その後数十年間にわたって英国は運河を所有し、そこから莫大な利益を得ていた。

  1956年には、その４年前にクーデターで政権を握り、エジプト共和国を成立させたナセル大統領が、「スエズ運河の国有化」を宣言。しかし、これに対し英仏、そしてイスラエルが派兵し、第二次中東戦争が勃発する。ナセル大統領は運河の封鎖をもってこれに対抗。さらに、米国が介入して英仏イスラエルを厳しく非難した事で、エジプトは結果的に運河の国有化に成功する。
- スエズ運河橋

  2001年、日本政府のODAを受けて建設された、スエズ運河を横断して、アフリカ大陸とユーラシア大陸を結ぶ巨大な吊り橋。主塔の高さはクフ王のピラミッドと同じ高さという。スエズ運河にはこれまで4回橋が架けられたことがあるが、いずれも中東戦争などで破壊されており、これは「34年ぶり」に運河に架かる橋となったそうです。外観は「古代エジプトをイメージして」つくられ、建設も日本企業が担当。「アジアとアフリカを結ぶ、平和のシンボル」とも言われるが…

（文責 辻喜代子会員）

にこにこ

小川健三様（東京中央RC）
藤下会員、ロイ会員と一緒に参加させて頂きます。よろしくお願い致します。

椎野登貴子会長
久しぶりに箱根の温泉に行ってきました。二日間共富士山が良く見えました。さすがに霊峰富士ですね。

かづきれいこ会員
今日は疲れています。シャンプーとボディーシャンプーまちがって髪洗いました。だから髪、パサパサです!

辻喜代子会員
当クラブ画廊めぐりも10年を迎へ当時の小学生も大学生になり感慨深いですねー!

にこにこ合計 8,000 円 / 今期累計 183,000 円

クラブ週報 編集担当 宮下 文夫・小堀 彰・川上 鉄太郎 落合 守征・左 明貴子・吉田 しおり

TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB
東京中央新ロータリークラブ週報
例会日 毎週月曜日(12：30~13：30) 会 場 帝国ホテル3F 舞の間
会 長 椎野 登貴子 幹 事 石原 忠始
事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F
TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 http://blog.livedoor.jp/chuoshin/
2018-2019年度 国際ロータリーテーマ「インスピレーションになろう」

本日の例会 第723回 2018年11月26日(月)

卓話「日本経済の将来展望と課題」
日本橋ロータリークラブ会長 古沢 熙一郎 様

例会報告 第721回 2018年11月12日(月)

出席率 67.92% 出席者22名+メーキャップ14名
（正会員58名-休会5名）

会長報告（椎野登貴子会長）

- 皆様ご承知と思いますが、11月はロータリー財団月間となっておりますので、ご協力をお願い申し上げます。
- ニコニコが最近少なくなっておりますが、大切な奉仕活動の活動資金となるものですから、皆様ご協力をお願い致します。

幹事報告（石原忠始幹事）

- 本日は、11月理事会議事録、週報、バギオだよりを配布しました。
- 12月18日（火）クリスマス夜間例会にはおかげさまで五十数名の申込をいただき、ありがとうございました。参加者は3000円程度のプレゼントを持参して、交換して頂くことになっておりますので、忘れずにお願いいたします。
- 本日「TOKYO2020都市ボランティア」の申込用紙をお配りしました。東京都がオリンピックのボランティアを募集しておりますので、会員の皆様の若いお知り合いに配布下さい。
- 2019年2月22日（金）23日（土）のグアム地区大会の参加登録の締め切りが近付いていますので、ご参加予定の会員は早めに手続下さい。

奉仕の集い報告
（地区青少年奉仕副委員長 石川和子会員）

先週もお願い致しましたが、2019年３月28日（木）赤坂区民センターで地区の各クラブの素晴らしい奉仕活動の報告会が開かれます。参加登録は11月30日(金)までとなっておりますので、一人でも多くの方が参加されるようお願い致します。

ギニアチャリティコンサート報告（野呂洋子会員）

ギニアに古着や中古自転車を届ける支援活動を支援するチャリティコンサートが本年12月16日（日）午後３時からギニア大使公邸（中目黒）で開かれます。参加費２万円は、コンサート費用を除きすべて支援物資のコンテナ輸送代（予定:100万円）に充てられます。めったに入れない大使公邸にて、ギニア大使も参加され、アコーディオン演奏、ギニア民族音楽、映像上映など楽しいイベントも用意されております。是非参加下さい。

画廊巡り直前報告（責任者:野呂洋子会員）

いよいよ本年最後の「画廊巡り」が明日11月13日(火)午後に開催されます。ご協力の皆様は、12時30分までに泰明小学校３階図工室へお集まり下さい。

ポリオ撲滅チャリティ ピアノリサイタル報告
（黒岩友美会員）

11月７日(水)、紀尾井ホールにて、東京広尾RC主催、国際ロータリー第2750地区ロータリー財団委員会 ポリオプラス委員会協賛で、ポリオ撲滅チャリティ ピアノリサイタルが開催されました。

多くのご支援を頂き、チケット800枚が販売され、その収益の250万円余をポリオ撲滅活動寄付ができたとのこと、ご協力大変ありがとうございました。

「ゆめの感謝祭」開催報告（椎野登貴子会長）

秋葉良子直前会長の「成田ゆめ牧場」には、今年度初めの植樹プロジェクトでは植樹の場所を提供するなど多大な貢献を頂きましたが、今度12月1日（土）２日（日）に牧場にて「ゆめの感謝祭」を開催されるとのことで、本日特別招待券（入場を無料）を各会員に複数枚お配りいただきましたので、会員の皆様は是非成田へ行かれて感謝祭に参加すると共に植樹の成果もご覧になって下さい。

卓話 これからの社会貢献とロータリー

地区地域社会奉仕委員長
榊原 節子 様

- 今度地区では「奉仕活動」についてサイトを作り、2750地区のHPからスマホアプリをダウンロードいただければ各種の多彩な情報が手に入りますので、是非サイトへのアクセスにトライ下さい。
- ロータリーと閉塞感

  日本のロータリー会員は最高13万人から減少を続

け、現在9万人程度になっています。この減少は社会でロータリーの位置付けが変わったことを意味しているのではないでしょうか？　私は、資産運用の仕事をしており、世界の会議にも出掛けますが、よく論点になるのが相続による事業承継と社会貢献です。

- ロータリーは「良心的に仕事をする」として創設されましたが、これにアメリカでは4つのテストが大いに貢献したと言われていますが、先進国ではすでに一般の企業の社会貢献活動が社会の大きな潮流となっています。ユニクロはNPO法人とタイアップして、衣料品のリサイクル回収と難民・避難民への寄贈などの活動をしています。又、製薬会社ではNPO法人とタイアップして、社員ボランティアの派遣や開発途上国の給食支援プログラムへの参加をすすめている例もあります。社会貢献活動が広く普及してきています。これからのロータリーはこれらの社会の様々な社会貢献活動機関と連携して、地域や社会のニーズを吸い上げて、資金が少なくても創造力豊かに有効性のある奉仕活動を創り上げることが必要ですし大切なことになっているのではないでしょうか。
- 奉仕の実例

＊「創業支援塾2017」（東京愛宕RC）
ロータリアンの知恵と人脈を活用して、社会起業家とのマッチング企画を作り出して、素晴らしいロータリー力を示したとして、最優秀ガバナー賞が授与されました。

＊「15歳のハローワーク」（東京恵比寿RC）
生徒の希望で「弁護士・医師・企業経営・編集者・芸能関係」など10の職種毎に分科会を開き、事前の質問に応じてその職種に従事しているロータリアンが業務の実態やどんな勉強をすべきかなどの話をすることでロータリー力を示す奉仕の好例の企画と言えます。

＊「児童養護施設・聖フランシスコ子ども寮バザーの支援」（東京田園調布RC）
熱心な個人の活動から始めて、所属企業、所属ロータリークラブへと支援の輪を展開して、日本の児童と貧困問題に対する一つの貢献の形を示したものと評価されます。

＊「ローターアクトの子ども食堂のサポート」（東京日野RC）
ローターアクトの活動「フードバンクTAMA」への支援について、主に人的支援をローターアクトが担い、資金や食品など物的支援を主にRCが分担して立派な奉仕活動を成功させ、RCの力を補う協働的奉仕の好例となりました。

＊「箸知育教室」（東京築地RC）
小学生を対象に箸の歴史、食事のマナー、箸の持ち方、使い方などを学んでもらう課外授業で、オリジナルの箸づくりなどの体験教室も開かれています。

＊「避難所・防災倉庫へ122台のLED投光器等を寄贈」（東京世田谷RC）
会員に発明家がいて、特別なLED投光器を作成して指定避難所であるすべての区立小中学校へ贈与して配備して、地域のニーズをとらえた奉仕の好例となっています。

＊「南相馬小中学校へ図書を寄付」（東京杉並RC）
姉妹クラブの南相馬RCの協力を得て、RCの創立30周年記念事業としてボランティア収集した図書約1000冊を寄贈し、災害対応の奉仕活動のよい実例となりました。

＊「トゲザーズ−非健常者の歌・踊りなどの発表会支援」（東京山の手RC）
400人を超える参加者が発表会に参加し、ロータリアンの家族だけでなく、友人・知人もボランティアで貢献してくれ、ロータリアン以外を巻き込んだ奉仕活動の好例となっています。

- 「RCC」を作りませんか？
RCCとは、市民グループ、ボランティア団体がロータリークラブの援助と協力の下に地域貢献活動を行うことです。2750地区ではまだありませんので、皆様のクラブが立ち上げてはいかがでしょうか？
- 地区「奉仕活動サイト」紹介
トップページには、「奉仕活動のデータ」がいつでも見られるようになっています。「奉仕のかけこみ寺」の頁では、よろず相談を受けています。他にもロータリアン先駆者の活動や心に残る話、奉仕のノウハウなど盛り沢山の情報が詰め込まれています。又、地区では最近「奉仕プロジェクト企画実行のガイドライン」を作成して、公開しています。これらを参照して実働性ある奉仕プロジェクトをどしどし企画して地区に報告下さい。

（要約文責　宮下）

椎野登貴子会長　本日は地域社会奉仕委員長の榊原様が卓話でいらしております。どうぞよろしくお願い致します。

大盛敬子会員　本日の榊原様の卓話を楽しみにしております。宜しくお願い致します。

並木咲樹会員　数十年ぶりに沖縄に遊びで行ってまいりました。発展していて、中国・韓国の方が多くいらしていて国際色豊かでした。

野呂洋子会員　おとどい泰明小学校の140周年記念パーティーに参加してきました。本日は12月15日のチャリティパーティーの御案内で、又、馬（マー）さんが来てくれました。

丸山冨美江会員　お誕生日のお祝を有難うございました。いつまで生きられるか分かりませんが、一日一日を大事にして行きます。

にこにこ合計 10,000 円 / 今期累計 175,000 円

例会報告　第722回　2018年11月19日（月）
出席率 52.83%　出席者18名＋メーキャップ10名（正会員58名−休会5名）

司会　伊藤知佳子会員組織副委員長、ソングリーダー井関和美会員、お客様紹介　辻喜代子会員

会長報告（椎野登貴子会長）

今年度もあっという間に年末になり、あと数回で当クラブ単独開催のクリスマス例会になってしまいました。クリスマスは50人以上の参加予定となり盛大な会を楽しみにしております。新年会の内容も決まり本日ご案内いたしました。年末年始は何かと慌ただしいところでございますので、皆様もお身体にお気をつけてご活躍下さいませ。

幹事報告（石原忠始幹事）

- 本日新年会のご案内を配布しました。予算1万5千円で、銀座レカンのフレンチを予定しています。できれば年内に申込いただければ助かります。
- 「ロータリアン向け無料コンサート」（チェロとヴァイオリン）のご案内が届いており、日程が迫っております（三井住友銀行東館ライジング・スクエア1階で11月22日（木）18時30分開演）予約不要で先着250名まで入場できるそうです。興味のある方はお出掛け下さい。
- 2019年2月グアム地区大会の締切が迫っています。登録料の振込は今月末までなので、よろしくお願い致します。
- 2019年6月、ハンブルグ国際大会の参加の締切も12月15日です。ガバナーナイトなど楽しい催しもありますので、登録料振込を忘れないで下さい。

画廊巡りプロジェクト報告（井関和美奉仕プロジェクト委員長）

- 本年度2回目の泰明小学校3年生の画廊巡りプロジェクトは、11月13日（火）午後実施され、初めて参加する子どもたちも多く、画廊で作品を見ながら説明いただく内容を聞きながら丁寧に一つ一つ鑑賞し、画廊側も驚く質問も出るなど最高の盛り上りの中無事終了致しました。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

画廊巡り

Tokyo Great Santa Run報告（三木慶子会員）

「Great Santa Run」は、元々大阪で行われて10年になる企画です。重病で入院中の子どもたちに元気を届けるため、サンタがプレゼントを届けるというイベントです。その費用捻出のために、サンタの衣装でサイクリングやランニングをするイベントで参加費をチャリティとして払っていただくものです。毎年大阪城の廻りをランしますが、1万2千人以上が集まって下さり、周辺が真っ赤に染まるような盛大さです。

今回その企画の東京進出の1回目として、12月23日（日）明治神宮内サイクリングコースをサンタラン（自転車又はランニング）する企画を立てています。中高大の子どもたち自身30名位が企画の中心に加わり、1回目を成功させないと次はないという意気込みで頑張っています。

参加チケットは、ネットで「Tokyo Great Santa Run」のサイトを開けて、入手手続が行えます。チケットの種類もいろいろあり、衣装付大人サンタで5400円からになっています。どうぞ皆様、初めての東京サンタランを盛り上げるためにご参加下さい。

テーブルスピーチ

参加者が4テーブルに分かれて「前期奉仕活動の反省と後期奉仕活動の展望について」をテーマに約20分間テーブルスピーチが行われました。

（テーブル1報告　井関和美会員）
夏キャンプとか画廊巡りなどよい企画としてこれからも続けていくべきだが、もう一つ体を使ってボランティア活動をするものを企画したいとの声がありました。
中央RCのお客様から、「給食活動支援ボランティア活動」の紹介があり会員らも聞き入っていました。

（テーブル2報告　福元智子会員）
当テーブルは岡山RC、中央RCなどの方がいらして、いろいろな奉仕のご報告が花咲いて楽しく拝聴致しました。「反省と展望」については、「ともかく長く続けることが大切だ」ということがメインとなりました。

（テーブル3報告　川口恵会員）
中央RCのお客様が奉仕活動の内容を説明下さり、「奉仕とは何か」について各会員からいろいろな意見が出ました。結論として「奉仕活動が慈善的に与えるだけになってはいけない」という点で皆様一致しました。

（テーブル4報告　宮下文夫会員）
当テーブルは参加者が少なく治療で先に帰った会員もありまとめるのは難しいのですが、画廊巡りについては女の子がとても注意力が高く30枚以上の展示作品のうちある1枚に画家の小さいサインが無いことに気付いて質問したところ、画廊側も気づいてなく見直したら